

オンライン授業での心がけ

【物語編】

■それぞれの部屋

先生がオンラインで授業の説明をしている

先生「今日から3回にわたってオンライングループディスカッションをおこないます。最後の3回目は議論をまとめた結果を発表してもらいます。それでは、各グループに分かれてディスカッションをはじめてください。」

続々とグループルームに入室

佳乃, 春菜, 豊, 亮の順

佳乃が入室

春菜、佳乃が入室したのを確認して

春菜「こんにちは。今日はよろしくお願ひします。」

豊

チャットに文字が打ち込まれる

こんにちは、今日はチャットでの参加でお願いします。

佳乃、打ち込まれたチャットを見て

佳乃「今日はチャットでの参加なんですね。よろしくお願ひします。」

春菜「顔と声が出せない時もあるよねー大丈夫ですよ！」

豊(チャット)

ありがとうございます。

今日は大学のオンライン受講部屋からなんです。

佳乃「あそこは声もだしにくいし、カメラ使うと他の学生の姿もちょっと映りこむ場合があるもんね！」

豊(チャット)

そうなんです。

亮がルームに入室

亮「遅くなりました、よろしくお願ひします。」

佳乃「メンバー全員そろったので始めましょうか。」

亮「(元気よく) 始めよう！！」

全員沈黙

春菜、困った表情で

春菜「実際、何から始めたらいいの？」

【解説編】

■それぞれの部屋

佳乃「先生が【オンライングループディスカッションの心がけ】を細かく書いたスライドを置いてくれたから大丈夫！それに沿ってやっていっていきましょう！」

亮「さすが先生！」

佳乃「じゃあ、画面共有するので、みんなでスライドを確認してみましょう！」

【グループディスカッションの役割】スライド表示

佳乃「えっと、参加者それぞれが以下のような役割を担うと、議論がスムーズに進みます。

司会進行を担うファシリテーター

議事録を取り、発言の論理整理をする書記

時間管理を担うタイムキーパー

発想力に優れさまざまなアイデアを出す発言者」

豊

チャットが表示される

声が出せないなので書記やります！

春菜「じゃあ私、タイムキーパー。」

亮「じゃあ、俺は発言者かなー。」

佳乃「じゃー私はファシリテーターね！！ じゃあ進めていきましょう！！」

豊

チャットに表示

役割分担

ファシリテーター：佳乃

書記：豊

タイムキーパー：春菜

発言者：亮

春菜「さっそくだけど、3回目は発表なので実際の準備は今回と次回しかないけど、この後はどうする？」

佳乃「そこもスライドを用意してくれてるよ。」

亮「さすが先生、準備すごいね。」

【グループディスカッションを進めよう】スライド表示

佳乃「グループディスカッションの進め方は大きく下のような流れで行います。

自己紹介、役割を決めよう

時間配分を決めよう
意見・アイデアを出そう
意見・アイデアを整理しよう
結論を導いて発表の準備をしよう
発表
ってなってるわね。」

亮「じゃあ、発表は別の時間として発表の準備に30分は欲しいよね。」

佳乃「アイデアの整理も30分ぐらいかな。」

春菜「今日の残り時間はアイデア出しで、次回にその2つをおこなう、でどうかな？」

豊

チャットに表示

時間配分

アイデア出し 残り時間

アイデア整理 30分

発表準備 30分

亮「おー！ 文字にするとわかりやすいね。」

春菜「発表は誰がする？」

亮「発表？ はい！ 俺がやります！」

佳乃「これで役割も流れもみんな決まったわね。じゃあさっそくアイデア出しは始めましょうか？」

豊

チャットに表示

みなさんのアイデアを整理できるように、私の画面を共有しましょう。

アイデアはスライドにメモしていきますね。

【グループディスカッション メモ】スライド表示

春菜、驚きながら

春菜「すごーい！スムーズに進んでる。」

亮、自信満々に

亮「俺もちゃんとディスカッションの様子を録画して残してあるよ。」

春菜、驚いた表情

春菜「えっ！？録画してたの？」

佳乃、少し怒りながら

佳乃「録画するなら先に言うておいてよね。」

亮、困った表情

亮「えっ！？褒められると思ったのに・・・どうしてダメなの？」

天の声「亮くん、最初に他の参加者の皆さんの同意はとりましたか？」

みんなで驚く「ええ?!いつからいたんですか？」

天の声「実は最初からいました。」

亮「ああ、びっくりした。いえ、録画の同意は取ってません。俺らで確認するだけだし良いかなと思って・・・」

天の声「オンライングループディスカッションの録画は参加者全員の同意があれば構いません。さきに同意を取るようにしましょう。」

春菜「もしかしてオンラインの授業でも録画してるの？」

亮「後で復習するために録画してるけど・・・もしかしてダメだった？」

佳乃「他にも顔を出してる人もいるから良くないと思うけど・・・」

天の声「オンライン授業では、カメラをONにすべきか判断が難しいものです。だれに録画されているかわからない状況では、カメラをONにできないですね。裁判に訴える人がいるかも知れなくてすよ。」

亮、少し落ち込みながら

亮「そうですね、気をつけます・・・」

天の声「スクリーンショットも含めてオンライン授業の録画は、軽い気持ちでSNSに紹介してしまうと著作権侵害になる恐れもあります。」

佳乃「そんな問題にもなるんですね。」

亮「そこまで問題になるなんて知りませんでした・・・以後、気をつけます。」

天の声「オンライン授業では、個人が場所にとらわれることなく、より自由に受講できるようになりました。そのため他の人が、どのような状況で受講しているか配慮して対応することが必要です。」

春菜「本当にそう思います。」

佳乃「今回のグループディスカッションも、豊さんの状況を理解したうえで実施できたものね。」

亮「豊さんも、書記としてめっちゃ情報共有してくれたしね。」

天の声「オンライングループディスカッションでは、ツールを活用することで、簡単に情報共有ができます。「今、何を話しているのか」がクリアになり、ディスカッションの質が上がります。豊さんのメモのような議事録も大いに役立つことでしょう。」

春菜「今回のようにチャット機能を使ったり、画面共有したりすると本当に便利よね。」

佳乃「議事録もメンバー間でリアルタイムに共有できるしね。」

亮「うん。そういえばクラウド上でスライドを共有して、みんなで書き込めば最後のプレゼンテーションも作りやすいかも。」

豊

チャットに表示

いま画面共有しているスライドのURLです。

<https://docs.slidolion.com/document/d/xxxxxxx>

これで皆さんも書き込めます。

春菜・佳乃「（元気よく）いいね！それでやってみよう！」